



体育って楽しいね



ミャンマー 未来を拓く教科書作り

2014年5月～2021年3月

2011年の民生移管後に発足したミャンマー新政権は、基礎教育の拡充を重要課題の一つとして捉えています。初等教育（1～5年生）は、総就学率が117%（世界銀行、2010）に到達した一方、23%（ミャンマー教育省、2011）もの子どもが最終学年までに中退してしまいます。この原因として、家庭の貧困や親の季節労働等による影響と並んで、教育内容の質の低さや教員の能力不足により、学習に対する子どもの興味・関心が下がっていることも考えられます。

本案件では、初等教育の全学年について、体育を含めた全10科目のカリキュラムを改訂、教科書と教師用指導書の開発を支援しています。また、現職教員向けの新カリキュラム導入研修や教員養成校での研修も併せて実施しています。議論と試行を繰り返し、子どもたちが興味や関心に基づき主体的に学べる児童目線の教科書の作成に取り組んでいます。

～活動や目指す成果～

体育教科書の開発

これまでミャンマーにはなかった小学校の体育の教科書を開発しています。ミャンマー人にとって馴染みがあり、かつ児童の発達段階に応じた活動を提供することを重視しています。

体育教科教師用指導書の開発

教師用指導書を作成し、教師の指導法をまとめています。課題をうまく達成出来ない児童への対応方法について指導書に記載することで、これまで体育の授業を行ったことがない教師でも指導が出来るようになりました。

現職教員向け新カリキュラム導入研修の実施

教員研修に体育のデモンストレーション演習を含めることで、これまで体育の授業を行ったことがなく、また自身も小学生の頃に体育の授業を経験していない教師の指導能力の向上に貢献します。